



# 飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

## ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ  
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2946例会 2021. 2. 3

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 57-32)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日 (12:30~13:30)

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

### 《臨時休会》

#### 【会長報告】

皆さんこんにちは。今日は立春です。「丑」年ですが、牛は古来より人々の生活に深く関わり、ゆっくりと着実に事を成すひたむきな動物とされています。どんな困難に遭おうとも平常心を保ち思いやりの心で互いに助け合っていきましょう。本日、書面理事会を開催致しました。会員の皆様には、緊急事態宣言中であり、飯能地区においてははるかに新型コロナウイルス感染者が増加しております。一人一人が感染防止に更に注意をして行動したいものです。臨時休会中の会報は卓話の代わりに各種ロータリー情報を掲載します。

#### 「創業の精神」

一つの事業を起す。創業という。

一つの道を切り開く。創始という。

「創」には「傷をつける」という意味がある。辛苦、辛酸なくして創業は成し得ないということである。創業の精神とは何か。三つの要素が浮かんでくる。

その第一は「必死」の精神である。死に物狂いである。寝ても覚めても考えるのは仕事。仕事と心中するくらい愛情と努力を仕事に注ぐ。必死に努力することを厭わない。楽しむ。いや、楽しむ気持ちを超えている。没我である。仕事と一体になっている。そういう日々の繰り返しのなかで何かを会得し創業者魂を鍛えていく。京セラを創業したばかりの頃、稲盛和夫氏は若い社員たちと、京都一、いや日本一の会社になろうという目標を立て会社に泊まり込みで仕事をした。全員が燃えていた。だが、一か月もすると社員が、「稲盛さん、こんなことを続けていたら体がへばってしまう。そろそろペースダウンしましょう」と言ってきた。当時、稲盛氏は27、8歳。氏は同調しようになる自分を励まして言った。「みんな、エネルギー転位の法則を知っているか。エネルギーは一定のところでは安定している。だが一つ上の段階に行くにはものすごいエネルギーが要るんだ。ボロ会社が立派な会社になるには並のエネルギーではだめなんだ。ペースダウンしたらボロ会社のままだ。な、だから頑張ろう」稲盛氏は社員を鼓舞し先頭に立って走り続けた。以来45年、その姿勢は

習い性となり、京セラのDNAとなって定着した。

第二の要素は、危機感、緊張感を失わないことである。危機感、緊張感をなくした時、あらゆる生命は弛緩し油断を生じ衰退に向かう。企業もまた同じである。すぐれたリーダーはどんな好調時にも危機感、緊張感を失わない人である。「すべての仕事において、創業期の精神が失ってしまうことがもっとも危険である。創業の精神とは緊張の精神である」——花王の基礎を築いた二代目社長、長瀬富郎氏の名言である。花王の23期連続増益の実績はこの言葉が体質になって生まれたのだろう。

第三の要素は先祖への感謝である。自分を生み出したもの、縁を紡ぎしものへの感謝を忘れない。この心を失った時、天は大きなしっぺ返しを下すことを真のリーダーは本能的に知っている。晩年の松下幸之助氏は「感謝と畏れを忘れるな」とよく言ったという。人生には人知をはるかに超えた働きがある。その目に見えないものに対する畏敬の念を失った時、何が起こるか。その恐ろしさを熟知した人ならではの、人生の急所を衝いた言葉である。

#### 【幹事報告】

第9回書面理事会での承認事項 ①第8回理事会議事録 ②3月以降、通常例会の開催に関して感染防止対策のお願いの徹底文書配付 ③例会中の会食を状況によりテイクアウトに変更する件 ④3、4月のプログラムの承認 ※3/24 飯能日高合同夜間例会の時間を昼に変更 12:30点鐘 15時閉会 ⑤飯能日高合同ゴルフ大会案内 ⑥親睦旅行を中止する件 ⑦3月以降の例会について緊急時は執行部協議の上、緊急対応をする件 ※①②④⑤は本日配付

#### 【委員会報告】

◎青少年奉仕委員会

川口君

飯能スポーツ少年団ロータリーカップ杯野球大会が4/25より5月末日まで開催。優勝カップ、メダルを贈呈します。

◎国際奉仕委員会

神田(康)君

6月の台北国際大会はバーチャルによる開催に変更。

# ロータリー財団

(The Rotary Foundation:TRF)

## ■ロータリー財団とは

国際ロータリー(RI)のロータリー財団は1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられた。1931年に信託組織となり1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的かつ教育的目的、または1954年国内歳入法第501項(c)(3)もしくは以後の連邦租税法の関連規定に定められ、かつ、法人会員の承認したほかの目的と目標のためにのみ組織され、常に運営されるものとする。この目的の中には博愛、慈善、教育という特質をもつ、あるいは善意に基づく実質的かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好関係を助長することが含まれるが、これらに限定されるものではない。

## 財団の定義

ロータリー財団は、RCおよび地区を通じて実施される、承認された人道的および教育的活動を支援のために寄付を受け、資金を分配する非営利団体である。

## 財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

## ロータリー財団のビジョン声明

管理委員会は以下のビジョン声明を採択した。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリー財団管理委員長エレクトは次年度のロータリー財団地域コーディネーター、恒久基金/大口寄付アドバイザーおよび同等の役職を、委員長、副委員長、会長、会長エレクトおよび次期委員長エレクト(既知の場合)と相談の上任命する。「任命」には複数年度の任期在任者の更新も含む。

## 財団資金の管理

管理委員会は、世界中のロータリアンやほかの支援者から受け取った資金が、ロータリアンの懸命な努力と献身的な支援による自発的寄付であると認識している。これらの寄付者は、寄付金が寄付の趣旨に沿って効果的に使われるものと理解し、信頼し、ロータリー財団に寄付金を委ねたのである。従って、管理委員会は、これらの資金の管理責任者として、ロータリー財団の補助金とプログラムに関連のある活動において適正な財務運営が行われることの重要性を強調している。

## ■ロータリーの補助金

2005年4月に管理委員会は未来の夢委員会を設置し、ロータリー財団の第2世紀に向けプログラム全体の見直しを行った。当時、金額の面で、ロータリー財団最大のプログラムはマッチング・グラントであった。日本では国際親善奨学金が最大のプログラムであった。1965年から2000年までの35年間で1万件のマッチング・グラントが実施されたが、2000年から2004年までの僅か5年間で1万件のマッチング・グラントが実施された。数の上で、飛躍的に増え、また、プログラムの種類も多く、当時14種類もの財団プログラムがあった。効果的に寄付金を使うために財団プログラムを見直す必要性が生じ、単なる援助でなく、持続性という観点が必要になった。小さな事業を数多く実施するより、大きな事業に力を入れるほうが、費用対効果が高いと考えられた。

2005年12月に世界中のロータリアンにアンケートを実施し、1万人以上のアンケートの回答を踏まえ、2006年10月に管理委員会が未来の夢計画を承認し、2007年規定審議会で採択された。2008年2~3月に未来の夢委員会が計画を作成し、4月と6月の管理委員会がその計画を承認した。さらに、RI理事会が、2008年6月の会合で、ロータリー財団の未来の夢計画に基づく新しい補助金制度を承認した。この計画は、まず100地区(日本からは6つの地区が参加)で2010年7月1日から3年間実施することになり、その地区をパイロット地区と称した。2013-14年度から全世界で一斉に新しい補助金制度の下で始まった。未来の夢計画の骨子は以下のものである。

## ロータリー財団の優先項目と目的

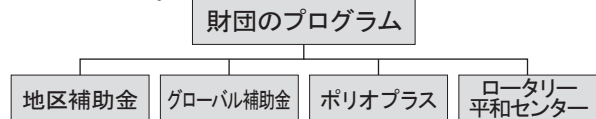
管理委員会は2018年7月1日から2021年6月30日までの3年間について以下の優先項目を採択する。

1. ポリオ根絶：歴史をつくるカウントダウン
2. 地区補助金とグローバル補助金を活用して6つの重点分野におけるロータリーの奉仕活動の持続可能性を高める
3. 地区財団活動資金の全額活用を奨励する
4. ロータリーの恒久基金に冠名基金を設置するための寄付と誓約を奨励する

(2019年1月管理委員会会合、決定65号)

## ロータリー財団の寄付金を使うプログラム

財団への寄付金を資金とするプログラムは次の4つとなっている。



## ■地区補助金とグローバル補助金

(Differences between District grants and Global grants)

### ◎地区補助金 (DG: District Grants)

地区補助金は、財団の使命(ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること)と一致する奨学金、旅行、プロジェクトに充てるために、シェアシステムにより地区に一括で支給される。

### ◎グローバル補助金 (GG: Global Grants)

グローバル補助金は6つの重点分野のうち少なくとも1つに関連する奨学金、職業研修チーム(VTT)、プロジェクトのために授与されるものであり、地域社会のニーズに基づき、その成果が測定可能、持続可能なものでなければならない。補助金額の範囲(1万5千~20万米ドル)があり、10万ドル以上は管理委員会の承認が必要である。WF(国際財団活動資金)はDDF(地区財団活動資金)に対し同額、現金に対してその50%が交付される。

## 〈6つの重点分野〉

1. 平和構築と紛争予防  
(Peacebuilding and Conflict Prevention)
2. 疾病予防と治療  
(Disease Prevention and Treatment)
3. 水と衛生  
(Water, Sanitation, and Hygiene)
4. 母子の健康  
(Maternal and Child Health)
5. 基本的教育と識字率向上  
(Basic Education and Literacy)
6. 地域社会の経済発展  
(Community Economic Development)